

KX-HJC100

VS-HM105



Panasonic®

取扱説明書

(設置説明付き)

モニター付き
屋外カメラ

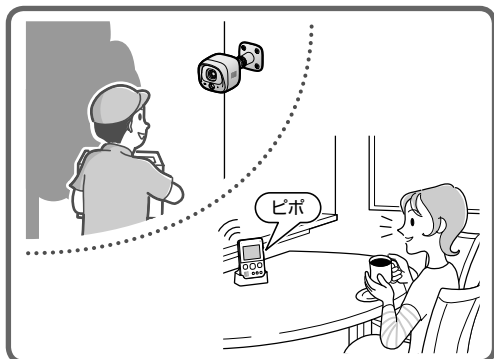
ブイエス エッチシー

品番 **VS-HC105**

確認と
準備

使い
かた

必要な
とき



Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で
「**ご愛用者登録**」をお願いします。(詳細は46ページ)

保証書付き
(裏表紙)

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

本製品に
ついて

- 侵入や盗難などを防止することを目的とした製品ではありません。
 - 無線通信を利用した商品であるため、混信や干渉により意図どおりに機能を使用できないことがあります。
- 上記に起因した事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

パナソニック株式会社 コミュニケーションプロダクツ事業部

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2018



PNQX8720ZA

PNQX8720ZA C0518KMO

Printed in Vietnam

各機器の名称について



屋外カメラ

(本書の表記: カメラ)



モニター親機

(本書の表記: モニター機)

付属品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

〈カメラ用〉

- ☐ ACアダプター(屋内専用) 1
- ☐ カメラ取付スタンド 1
- ☐ 壁掛け用ねじ(4 mm×25 mm) 4
- ☐ 安全ワイヤーセット 1式
- ☐ センサー範囲調整キャップ 1式
- ☐ カメラ作動中ステッカー 1

〈モニター機用〉

- ☐ 壁掛け用ねじ(3.8 mm×20 mm) .. 2
- ☐ 充電台 1
- ☐ ACアダプター 1
- ☐ 電池バック 1

ライセンスなど

- 本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i)画像情報をAVC規格に準拠して(以下、

AVCビデオ)記録すること。

(ii)個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

- モニター機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

もくじ

確認と準備

安全上のご注意	3
使用上のお願い	6
各部のなまえとはたらき	9
モニター機の設置・充電	11
日時(時計)の設定	13
カメラの設置	13
センサーについて	21

使いかた

カメラ側の相手に話しかける	25
カメラ側の様子を見る(モニター) ...	25
録画する(自動録画/手動録画)	25
録画を再生する	26
画像を保護する	26
日時やガイドを消す/表示する	26
再生音量を調整する	26
画像を消去する	27
表示に関する機能や設定	27
映像の明るさを変える	27
音に関する機能や設定	27
受話音量を変える	27
送話音量を変える	27
センサーに関する機能や設定	27
動作検知の検知範囲を設定する	27
センサー反応音の種類を変える	28
センサー反応音の音量を変える	28
機能設定一覧(設定方法と一覧表) ...	29

必要なとき

電池残量やアンテナレベル (電波の状態)を確認する	32
中継アンテナを使用する	32
電池バックを交換する	33
システムを拡張する	34
カメラとモニター機を ホームユニットと接続する	34
モニター機に映像が映らないとき	36
機器の減設・連携解除	38
別売品	39
仕 様	39
困ったとき	41
こんな表示が出たら	44
保証とアフターサービス	45

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

モニター機用電池パック(ニッケル水素電池)の取り扱いについて

⚠ 危険

液もれ・発熱・破裂を防ぐために



禁止

- 分解・改造しない
- 指定の電池パック以外は使用しない
- 付属の電池パックを、この機器以外に使用しない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- 端子を金属などに接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない



- 専用の充電台とACアダプターを使用して指定の電池パックを充電する



危険

事故を防ぐために



禁止

- 液もれしたときは、「液」に触れたり目に入れない

(皮膚や衣服に付いたり目に入ると、皮膚の障害や失明などの原因)

➔ 皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

カメラの設置について



危険

火災・感電・事故などを防ぐために



禁止

- 屋外の電源コンセントにACアダプターをつながない



警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

- ホースなどで直接カメラに、水をかけない

➔ めれた場合は、すぐにACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

- 雷のときは配線工事をしない
- 指定以外の機器は接続しない
- 指定以外の端子に電源(AC100V)を接続しない
- 設置・配線工事の際の壁への穴開けや、DCコードを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない

警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

- 電源を入れたまま配線工事をしない
- DCコードを窓やドアなどにはさみ込まない
(DCコードに傷がつくと、ショートによる火災・感電の原因)

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- センサー範囲調整キャップは、乳幼児の手の届くところに置かない
(誤って飲み込むおそれ)
→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- 本体やDCコードを引っ張ったり、ぶらさがったりしない
(DCコードが抜けることによる感電や、カメラの落下によるけがの原因)
- 落下させたり、強い衝撃を加えない
→ 落下防止のため、本体に装着された安全ワイヤーを、確実に壁に取り付けてください。
- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井には取り付けない
 - ・ 石こうボード・コンクリートブロック・屋外に露出した木材・凹凸の激しい壁面など
(落下によるけがや、雨水などの浸入による火災・感電の原因)

注意

事故やけがなどを防ぐために



- 安全ワイヤーを必ず取り付ける
(落下によるけがの原因)
- インパクトドライバーは使わない
(ねじの破損による落下やけがの原因)

感電などを防ぐために



禁止



- 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない
(絶縁劣化による感電の原因)
- 土中埋設配線する場合、DCコードや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする

本製品全般の取り扱いについて

警告

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない
→ 修理は販売店へご相談ください。
- めれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない
- 雷が鳴ったら、カメラ、ACアダプターに触れない
- コード・ACアダプターを破損するようなことはしない
 - ・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える(無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど)
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因)
- 修理は販売店にご相談ください。

警告

火災・感電などを防ぐために



禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)

- 機器内部(カメラのDCコード含む)に金属物を入れない

→ 金属物が入った場合は、すぐにACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

- 機器(充電台やACアダプターを含む)に水をかけたり、ぬらしたりしない

(カメラのACアダプターは防水構造ではありません)

→ ぬれた場合は、すぐにACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

- 本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない

- 付属のACアダプター以外は使用しない



- ACアダプターは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因)

→ 傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- ACアダプターのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)

→ ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

警告

火災・感電などを防ぐために

- 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにACアダプターを抜く

(そのまま使用すると、火災・感電の原因)

→ 使用を中止し、販売店へご相談ください。

- ACアダプターを抜くときはアダプターの本体(金属でない部分)を持って抜く

(コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因)

事故などを防ぐために



禁止

- 医療機器の近くでの設置や使用をしない*

・手術室、集中治療室、CCU(冠状動脈疾患監視病室の略称)などには持ち込まない

- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない*

(※本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)



- 心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す

(本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり)

⚠ 注意

火災・感電などを防ぐために



- 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

事故・けが・財産の損害などを防ぐために



- 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

(落下による破損やけがの原因)

- スピーカーに耳を近づけて使用しない

(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)

- 充電台にコイン・指輪・ネックレスなどの金属物を載せない

(金属物が熱くなり、やけどや発煙の原因)



- モニター機を壁掛けするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

(落下による、破損やけがの原因)

➔ 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ 18 mm 以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

使用上のお願い

モニター機の設置について

カメラの設置については(P.13)

こんなところに設置しない

故障や動作障害などの原因になります。

- 火気・熱器具・冷暖房機の近く
- 直射日光の当たる場所
- 温度変化が激しく結露が発生する場所
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

〈その他〉

- 携帯電話の基地局やテレビ局の近くなど、強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。

ACアダプターを差し込む位置は…

ACアダプターは、充電台の設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

カメラとモニター機間の通信や電波について

各機器間は、電波によって通信を行います。

カメラ

モニター機



使用可能距離(範囲): 100 m以内
(間に障害物がない場合)

- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。
- 各機器間の通信方式など、電波について詳しくは、P.7をお読みください。

使用可能距離(範囲)について

- 機器間の距離が近すぎると、「ピー」という音(ハウリング)が生じることがあります。
- 機器間の距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のように電波を通しにくい(または電波を反射する)障害物があると、電波が弱くなり、ブツブツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示(P.32)が圏外となって使えないことがあります。

- 複層ガラスの窓や金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器をそれぞれ、別の階や家屋で使うとき

上記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。
(P.32、39)

電波干渉によるノイズなどを防ぐために

■ モニター機を次の機器から離す

- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く
- CSデジタル放送受信機器(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)
 - CSデジタル放送の画像が乱れる原因になります。
(受信機器から離しても、特定チャンネルの画像が乱れるときはP.44)

通信の傍受について

本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

通信方式(電波)について

- 本機は、1.9 GHz帯の周波数を使用します。本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコー

ドレス電話を示す次のマークが表示されています。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

● 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、カメラのACアダプター、モニター機の電池パックを抜いて、ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口(P.46)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口(P.46)へお問い合わせください。

その他

個人情報について

モニター機には、来客映像などの録画データ（個人情報）が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- モニター機の録画データは取り出すことができません。修理依頼の前に、必要に応じて録画内容を確認してください。
- データの確認後、P.31「モニター機の初期化」の「出荷時に戻す」操作をしてください。
 - 初期化すると、モニター機に記録された情報が消去されます。
 - 故障の状態により、モニター機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- カメラの修理を依頼される場合は、「カメラの取り外し／取り付け」(P.17)にしたがって、カメラを取り外し、ご持参ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

P.31「モニター機の初期化」の「出荷時に戻す」操作をしてください。初期化すると、モニター機に記録された情報が消去されます。

- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

〈カメラを拭くとき〉

センサーの誤動作防止のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

〈ACアダプターを拭くとき〉

安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

〈充電機能の低下を防ぐために〉

モニター機や充電台の充電端子(P.9 図)は、月に一度、乾いた布で拭いてください。

- 充電端子が汚れていると、充電時間が長くなかったり、充電できないことがあります。



お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 取扱説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するとき
 - 万一の落下防止のため、カメラやモニ

ター機（壁掛け時）を壁から取り外してください。カメラを高いところに取り付けている場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

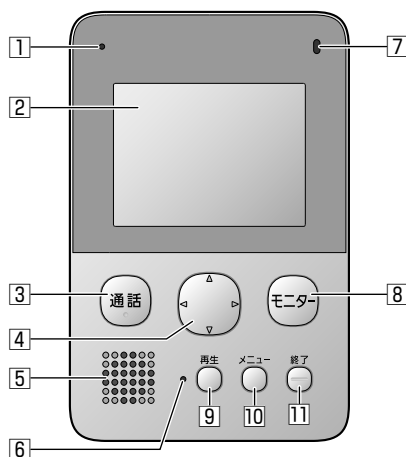
- モニター機の電池は取り外してください。（液もれなどの防止）

商標について

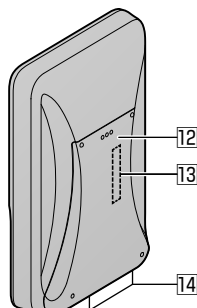
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Safariは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Google、Androidおよびその他のマークは、Google Inc.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Firefoxは、Mozilla Foundationの登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

各部のなまえとはたらき

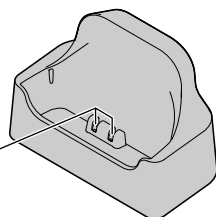
モニター機



〈背面〉



〈充電台〉



① 充電ランプ（赤）（P.12）

② 液晶ディスプレイ

③ 【通話】ボタン

④ マルチファンクションキー

【▼】【▲】【◀】【▶】

項目の選択などに使います。

⑤ スピーカー

⑥ 新着ランプ（赤）

点灯/点滅で状態をお知らせします。

（P.10）

⑦ マイク

⑧ 【モニター】ボタン

カメラ側の様子を確認できます。（P.25）

⑨ 【再生】ボタン

録画を再生します。（P.26）

⑩ 【メニュー】ボタン

トップメニューを表示します。（P.10）

⑪ 【終了】ボタン

⑫ 電池カバー

⑬ 製造番号

電池の装着部（電池カバーを開けた本体側）に記載しています。

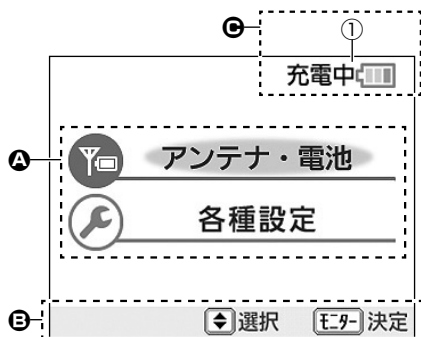
⑭ 充電端子（金属部分）

- ③④⑧のボタンは、画面下部の操作ガイド（P.10 ㊦）で表示される機能进行操作するときにも使います。

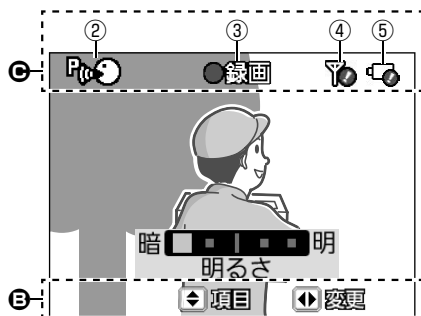
モニター機の画面について

■ トップメニュー

P.13「日時設定」後、【メニュー】を押すと表示されます。



■ 映像表示中の例



④ 操作メニュー

● アンテナ・電池

カメラ/ホームユニット※¹との電波状態(アンテナレベル)、モニター機の電池残量を確認できます。(P.32)

※¹ ホームネットワークシステムとしてご使用のときのみ

● 各種設定

各種設定を変更できます。(P.29)

③ 操作ガイド

ボタンのはたらきを表示します。

② 状態表示アイコン

現在の状態をアイコンなどで表します。

番号	意味
①	モニター機の充電状態(充電中/充電完了)と電池残量の目安(下記) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 多い 少ない </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>この範囲でご使用ください。</p> <p>● 充電台に置いているときのみ表示されます。</p>
②	カメラとの通信状態 : プレストーク通話中 (P.25) : モニター中
③	録画中
④	電波が弱い (P.32の電波状態確認方法で詳細を確認して適切な処置をしてください)
⑤	モニター機の電池残量が少ない (P.32の電池残量確認方法で詳細を確認して適切な処置をしてください)

新着ランプ(赤)の点灯/点滅について

■ 点灯しているとき

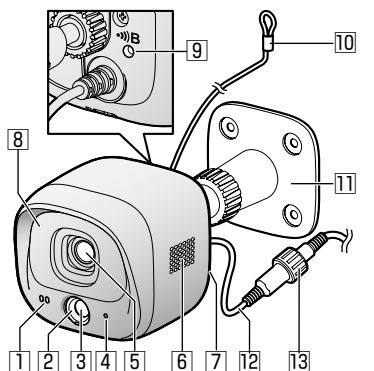
自動録画された新しい画像があります。ランプを消すには、録画を再生してください。(P.26)

■ 点滅しているとき

カメラ/ホームユニット※¹との間の電波(アンテナ)が圏外です。ランプを消すには、電波状態を確認して適切に処置してください。(P.32)

※¹ ホームネットワークシステムとしてご使用のときのみ

カメラ



- 1 マイク
- 2 センサー範囲調整キャップ (標準)
- 3 人感(熱)センサー
- 4 状態表示ランプ
- 5 レンズ
- 6 スピーカー
- 7 製造番号
- 8 レンズカバー
- 9 【ⓂB】

カメラをホームユニットに登録するとき
に使用します。(P.34)

- 10 安全ワイヤー
- 11 カメラ取付スタンド
- 12 DC コード
- 13 防水コネクター

カメラの画質について

- 以下のような場合があります。
 - 色合いが、実際の色と異なる
 - 逆光のとき、人の顔が暗くなる
 - 夜など光源が乏しい場合に、画質が低下する
 - 外灯を映すと、周りがかすんだようになる

状態表示ランプについて

カメラの動作状態や電波状態を確認できます。

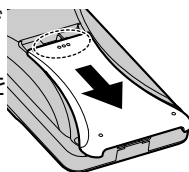
ランプの表示	カメラの状態
通信状態	緑点滅 (早い) センサーが反応中です。 緑点滅 (遅い) モニター中／録画中です。
電波状態 (待機中)	緑点灯 強い オレンジ点灯 赤点灯 弱い 赤点滅
	電波状態を表します。 ● 緑点灯になる場所への設置をお勧めします。 電波が届かず、通信できません。(圏外)

モニター機の設置・充電

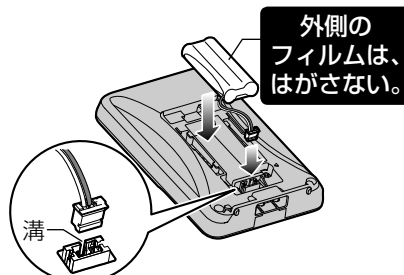
必ず充電してからお使いください。

1 付属の電池パックを入れる

- ① 部を押し下げながら手前に引き、電池カバーを開ける



- ② コネクターを溝に合わせて差し込み、電池パックを入れる

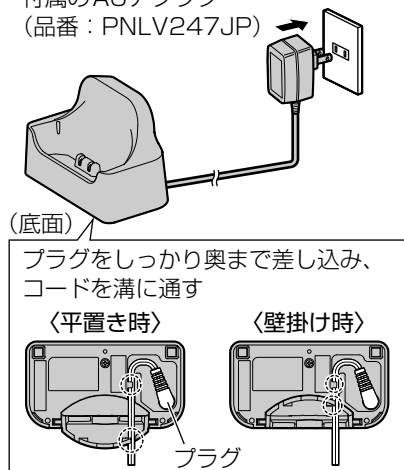


- ③ 電池カバーを元のように閉める

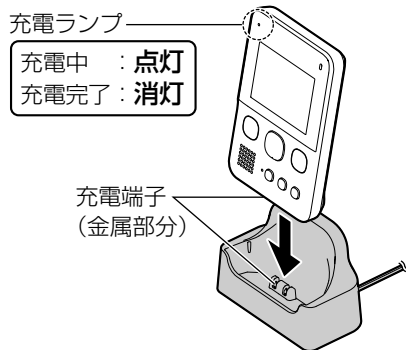
- 壁掛けする場合は、P.12を参照して充電台を壁に取り付けてから、下記手順2に進んでください。

2 ACアダプターを充電台と電源コンセント(AC100 V)に接続する

付属のACアダプター
(品番：PNLV247JP)



3 モニター機を充電台に置き、約12時間充電する



- 充電完了後の待機(待受)時間の目安や、充電時間についての詳細は(P.40)
- モニター機は充電台に置いたままでも過充電されません。

お願い

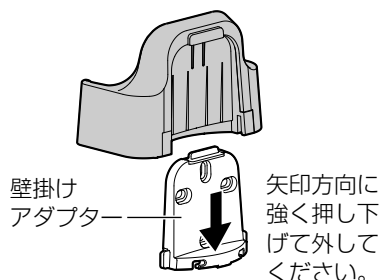
- モニター機は、使用後こまめに充電台に戻してください。

モニター機を壁(柱)掛けするには

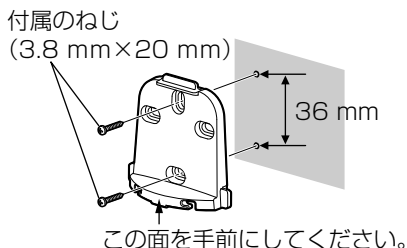
壁掛け時の注意(P.6)をよくお読みのうえ、次の点に留意して取り付けてください。
(誤動作や通話の途切れ防止のため)

- 本体を充電台に置いた状態で、上下左右に20 cm以上の空間をとる
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避ける

1 充電台から壁掛けアダプターを取り外す

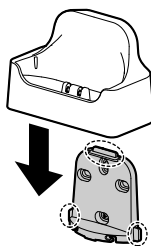


2 壁掛けアダプターを壁に取り付ける



3 充電台を取り付ける

充電台の溝に沿って壁掛けアダプターに取り付け、右図の○で示した3か所のツメが充電台に「カチッ」と収まるまで押し下げて固定してください。



日時(時計)の設定

お買い上げ時は日時未設定です。
下記の手順で必ず設定してください。

1 【メニュー】を押し、時計設定のお知らせ画面が出たら、表示に従って【モニター】を押す

- 日時設定の画面が表示されます。

2 下記の操作で日時を合わせる

【◀】【▶】	年・月・日・時・分の項目を選ぶ
【▼】【▲】	数字を選ぶ

3 日時を合わせたら、 【モニター】(決定)を押す



お知らせ

- 次の場合は設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
 - ・ 電池切れ、電池交換、充電中の停電
- 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。
- 日時の変更は、各種設定の「日時設定」で行います。(P.29)

カメラの設置

1 設置場所について

こんなところには設置しない

変色・変形、故障や動作障害の原因になります。

- 火気・熱器具・冷暖房機(室外機を含む)、磁石などの磁気の近く
- 直射日光の当たる場所や外灯の真下など(周囲が動作温度内でも局部的に高温になるため)
- 海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境(塩害などにより製品寿命が短くなるおそれがあります)
- 温度変化が激しく結露が発生する場所

- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ
- 油污れが付いたり、蒸気がかかるところ
- 携帯電話など強い電波を発生する製品の近く
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さない(撮像素子が破損する原因)
- カメラの上に重たいものを置かない
- 長時間お使いにならないときは、コンセントからACアダプターを外す
- レンズカバーや人感(熱)センサーにキズや汚れをつけない(きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなかったり、変形や故障の原因)
- カメラはIP54相当の防水性能を有しておりますが、水がかかることが想定される場所に意図的に設置しないでください。(ACアダプターに防水性能はありません)

ACアダプターを差し込む位置は…

ACアダプターは、カメラの設置場所の近くで抜きやすい場所にある屋内コンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

設置前のご注意

- ACアダプターは屋内に設置してください。(ACアダプターに防水性能はありません)
- 天井には、取り付けないでください。
- 壁への穴開け工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 穴を開けた部分には必ず防水処理をしてください。
- 付属の安全ワイヤーを使用して、必ず落下防止対策を行ってください。
- ACアダプターは、屋内の壁か床に据え付けの電源コンセントに接続してください。天井に据え付けの電源コンセントでは、ACアダプターの重みで外れる場合があります。

2 外壁材の種類に応じた注意事項

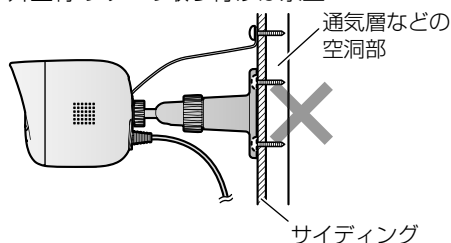
取り付け前に必ずお読みいただき、工が必要な場合は、販売店または専門の工事に依頼してください。

サイディングの場合

- 付属のねじ(呼び径4.0 mm、長さ25 mm)をお使いください。設置場所のねじの引き抜き強度は、1本あたり294 N(30 kgf)以上です。
- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。
必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください。サイディングの厚みなどにより、構造体で支持できない場合は、市販のねじ(呼び径4.0 mm、長さ25 mmより長いもの)を使用してください。
- サイディング用ドリルで下穴を開け、穴開け後は粉を取り除いてください。サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。

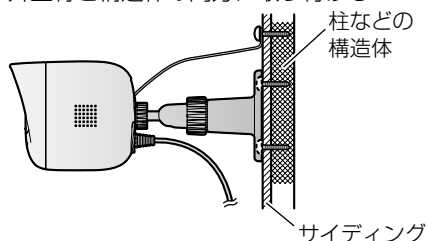
【悪い例】

外壁材のみへの取り付けは禁止



【良い例】

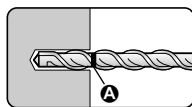
外壁材と構造体の両方に取り付ける



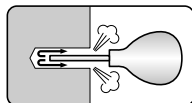
コンクリートの場合

- 付属のねじは使えません。市販のコンクリート用プラグボルト(ねじの呼び径4.0 mm、かつ、プラスドライバーで締められるタイプ)をお使いください。
- 取り付け前に、プラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、プラグボルトを壁に取り付けてください。

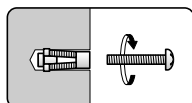
- 1 下穴の深さの位置にあらかじめマーキング(A)し、下穴を開ける



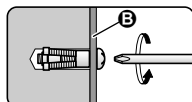
- 2 内部の粉を取り除く



- 3 プラグボルトを挿入後、ねじを抜いて仮固定する



- 4 ドライバーでねじを締める



Ⓑ カメラ取付スタンド

ALC(軽量気泡コンクリート)の場合

- ALCパネルの種類(厚みなど)によっては取り付けられない場合もあります。取り付け前に、ALCパネルメーカーにお問い合わせください。

＜取り付け可能な場合＞

- 付属のねじは使えません。必ず、市販の金属製のALC用アンカー(ねじの呼び径4.0 mm、かつ、プラスドライバーで締められるタイプ)をお使いください。
- 取り付け前に、アンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認

してから、アンカーを壁に取り付けてください。

- ALC用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 下穴の周囲部を防水シール材（市販品）で防水処理をしてください。

その他の壁（モルタル・タイル材など）

- 付属のねじは使えません。住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカー使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

3 設置場所の電波状態を確認する

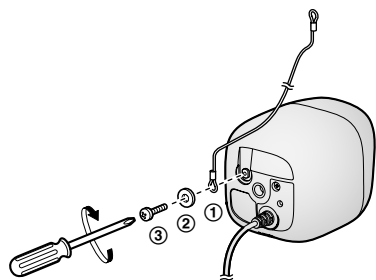
設置の前に必ず行ってください。

- ①モニター機に電池パックを入れる（P.11）
- ②カメラにACアダプターをつなぐ
- ③モニター機の【モニター】を押し、カメラの映像がモニター機に映ることを確認する
- ④カメラを設置場所に持って行く
- ⑤室内に戻り、モニター機を使用するすべての場所でそれぞれ電波状態を確認する（P.32）

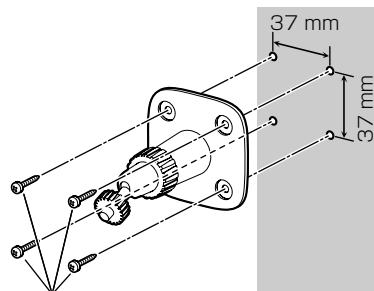
4 カメラを壁に取り付ける

1 安全ワイヤーをカメラに取り付ける

- 安全ワイヤー先端の輪（①）をカメラのねじ穴に合わせます。
- ワッシャー小（②）をその上に合わせます。
- ねじ小（③）を締め、ワッシャーと安全ワイヤーをカメラに固定します。



2 カメラ取付スタンドを壁に取り付ける

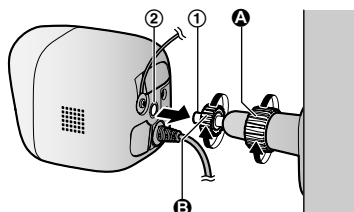


付属のねじ
(4 mm × 25 mm)

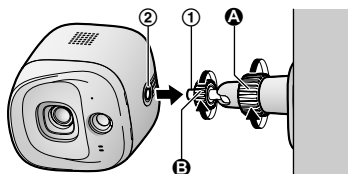
3 カメラをカメラ取付スタンドに取り付ける

- カメラの方向に合わせて、背面または底面のスタンド取り付け穴に取り付けてください。
- ねじ（A）を緩めます。
- カメラ取付スタンドの先端（①）を、スタンド取り付け穴（②）に取り付けます。
- ねじ（B）を締め、カメラを固定します。

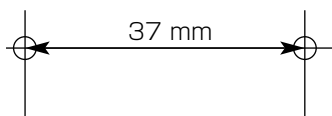
■背面のスタンド取り付け穴に取り付ける場合



■底面のスタンド取り付け穴に取り付ける場合

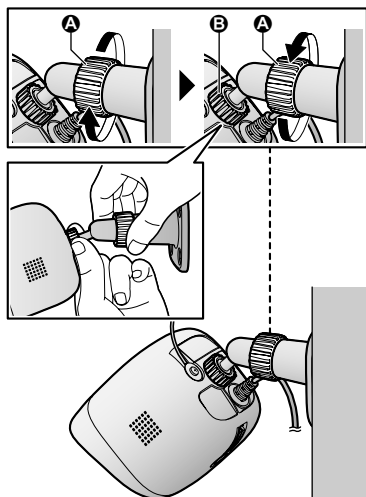


壁掛寸法のめやす



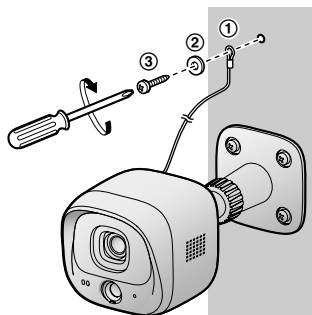
4 カメラの向きを調整する

- ねじ(A)を緩め、カメラの向きを調整します。
- ねじ(B)を押さえながらねじ(A)を締め、カメラを固定します。



5 安全ワイヤーを壁に取り付ける

- 安全ワイヤー先端の輪(①)の上にワッシャー大(②)を合わせます。
- ねじ大(③)を締め、ワッシャーと安全ワイヤーを壁に固定します。

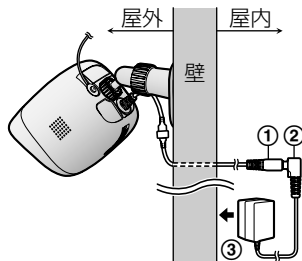


お知らせ

- 安全ワイヤーは、たわませた状態で取り付けてください。
- 万一、カメラが壁から外れた場合に、人に当たらないよう、安全ワイヤーは、なるべく高い場所に取り付けてください。
- カメラやカメラ取付スタンドにぶらさがったりしないでください。

6 DCコードをACアダプターに取り付ける

- DCコードを屋内に引き込み、DCコードのプラグ(①)とACアダプターのプラグ(②)を接続します。
- ACアダプター(③、品番：PNLV248JP)を電源コンセントに接続します。



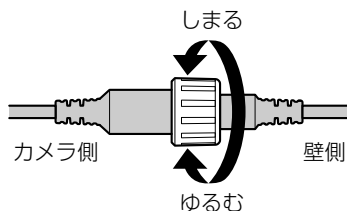
お知らせ

- 必ず付属のACアダプターをお使いください。
- DCコードのプラグとACアダプターのプラグは、屋内で接続してください。(ACアダプターに防水性能はありません)
- 修理などでカメラを取り外す以外は、防水コネクターのリングをゆるめたりしないでください。

カメラの取り外し／取り付け

■ 取り外し

- ① 屋内の電源コンセントからACアダプターを抜く
- ② 屋外のリングを回してゆるめる
- ③ コネクターを取り外す
 - ぬれた手で取り外さないでください。
(故障の原因)
- ④ 安全ワイヤーを外す
- ⑤ カメラ取付スタンドからカメラを取り外す



お願い

- 必ずACアダプターを電源コンセントから抜いて作業してください。
- カメラを取り外したあと、残ったコネクターがぬれないようにビニール袋などで保護してください。(ぬれると、故障の原因)

■ 取り付け

- ① 屋外のカメラ取付スタンドにカメラを取り付ける(P.15)
- ② 安全ワイヤーを壁に取り付ける(P.16)
- ③ コネクターが汚れたり、ぬれていないことを確認する
- ④ コネクターをつなぎ、リングを回してしっかり固定する
 - 確実に固定してください。(固定していないと、故障の原因)
- ⑤ 屋内のACアダプターを電源コンセントに接続する(P.16)

ACアダプターの接続について

- ACアダプターは常時接続しておいてください。(ACアダプターが熱くなることがありますが、異常ではありません。)
- ACアダプターは、壁か床に据え付けの電源コンセントに接続してください。天井に据え付けの電源コンセントでは、ACアダプターの重みで外れる場合があります。

5 センサーの検知状況を確認する

- 1 カメラを設置している場所に移動する
- 2 モニター機で【モニター】を押す
- 3 【メニュー】を押す
- 4 【▼】【▲】で「センサー確認」を選ぶ
- 5 【▶】を押す
- 6 【◀】【▶】で「人感センサー」または「動作検知」を選ぶ
- 7 カメラに向かって手を振るなどしてセンサーを反応させる
 - 反応したセンサーの種類がモニター機に表示され、カメラの状態表示ランプが緑色に点滅します。
- 8 終わったら、【終了】を押す



お知らせ

- 人感(熱)センサーは、付属の「センサー範囲調整キャップ」で検知範囲を調整できます。(P.18)
- 動作検知は、モニター中に検知範囲を設定できます。(P.27)


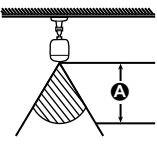
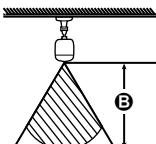
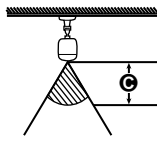



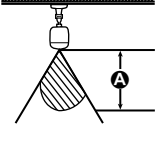
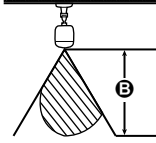
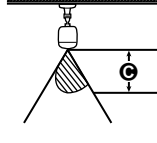
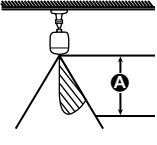
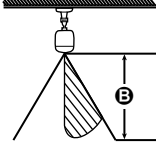
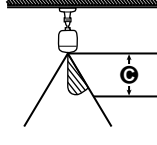

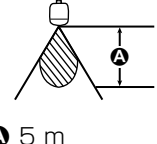
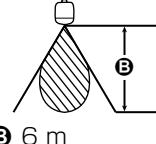
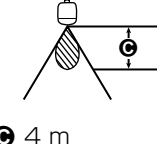
人感(熱)センサーの検知範囲を調整する

人感(熱)センサーで検知させたくないものがある場合、センサー範囲調整キャップを取りかえることによって、検知範囲を調整することができます。

センサー範囲調整キャップの種類と検知範囲

標準のキャップ(カメラ本体に装着済み)のほかに、4種類(キャップ1~4)あります。各キャップは、ふさぐ範囲が異なり、45度単位で回転させて取り付けることができます。次を参照のうえ、適切なキャップを適切な方向で取り付けてください。

- 検知範囲は、「人感センサー感度」の設定が「標準」の場合の目安です。(カメラ設置場所の周囲温度により変わります)

キャップの種類	検知範囲の目安(カメラを上から見た図)※1		
	20℃	0℃	30℃
両端とも検知させたい場合 標準(カメラ本体に装着) 	 A 5 m	 B 6 m	 C 4 m
片側を検知させたくない場合 キャップ1  キャップ2  キャップ3 	(例) キャップ1  A 5 m	(例) キャップ1  B 6 m	(例) キャップ1  C 4 m
	(例) キャップ3  A 5 m	(例) キャップ3  B 6 m	(例) キャップ3  C 4 m
両側とも検知させたくない場合 キャップ4 	(例) キャップ4  A 5 m	(例) キャップ4  B 6 m	(例) キャップ4  C 4 m

※1 センサー範囲調整キャップを取り付ける角度に応じて、図の検知範囲も回転します。また、数値はおおよその値です。検知範囲を \diagup で示しています。

センサー範囲調整キャップを取り付ける角度について

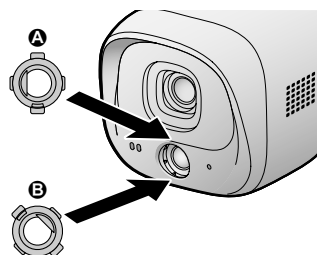
例1：カメラから見て右側に、検知させたくないもの（木など）があるとき

検知させたくない範囲に応じて、キャップ1～3のいずれかを(A)の向きで取り付ける



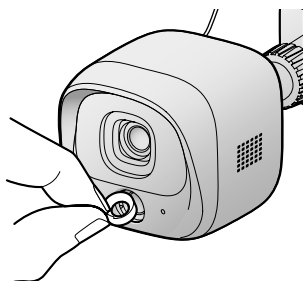
例2：カメラから見て左上に、検知させたくないもの（車道の車など）があるとき

検知させたくない範囲に応じて、キャップ1～3のいずれかを(B)の向きで取り付ける



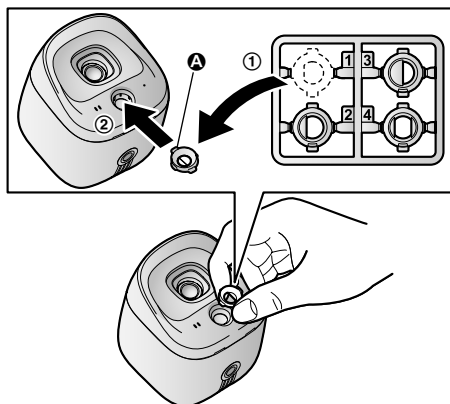
センサー範囲調整キャップの取り外し／取り付け

1 カメラ本体に装着済みのキャップを取り外す



2 使用したいセンサー範囲調整キャップを枠から取り外し、カメラ本体に取り付ける

- キャップの種類や取り付け角度に応じて、キャップのツメ(A)を上方向または斜め45度に回転させてから、下記のようにカメラ本体に取り付けてください。



センサーについて

動作検知と人感(熱)センサー

カメラには、「動作検知」と「人感(熱)センサー」の2つのセンサーがあります。特性を理解したうえで、適切な場所に設置してください。

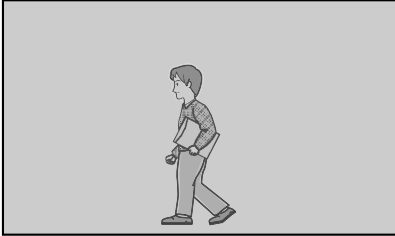
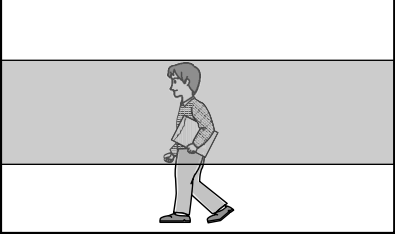


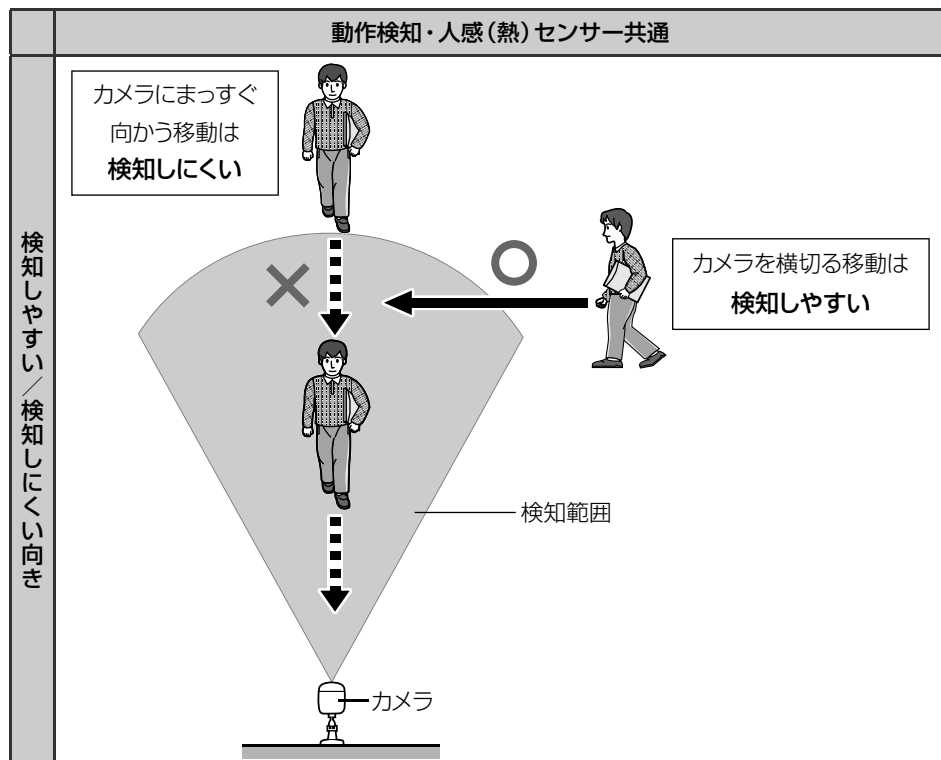
お知らせ

- 次の場所は、特に誤検知の原因になります。
 - 狭い通路などで真正面から人物が近づいてくるような場所 (P.22)
 - 風などで動くような植木、洗濯物などがある場所 (温度や動きの変化による誤検知)
 - 車の交通量が多い道路がある場所 (約5 m以上離れていても、車にはセンサーが反応します)
 - 換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や、車の排気ガスなどの影響を受ける場所 (急激な温度変化による誤検知)
 - 強風の吹く場所 (カメラが風で振動するため、誤って動作検知することがあります)
 - 強い雨が降る場所 (雨粒を検知することがあります)
 - 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
 - 明るさが変わりやすい場所 (昼間でも木陰などで影になる、夜でも外灯で明るくなるなど)
 - 次のように逆光になる場所 (人の顔が暗く映り、判別しにくくなります)
 - ・ マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所
 - ・ 正面に、直射日光が反射する白壁がある場所
 - ・ 直射日光が当たるような、明るい場所

センサーの特性と検知範囲について

	動作検知	人感(熱)センサー
検知方法	撮影範囲内の、 動きの変化を検知 ● 動体の輝度変化によって検知します。	撮影範囲内の、 温度変化を検知 ● 人や動物など、温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知します。
主な特性	昼間、または明るい場所では検知しやすい ● 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。 ● 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知することがあります。	夜間や冬場など外気温が低いときは、被写体と外気温の差が大きくなり、検知しやすい ● 昼間や夏場など外気温が体温に近くなると、検知しにくくなります。 ● 車のマフラーやボンネットなど、外気温との差が大きいものにも反応するため、撮影方向に道路がある場合は、通行している車に反応することがあります。

	動作検知	人感(熱)センサー
検知範囲	撮影範囲全体  <ul style="list-style-type: none"> ● 動作の検知範囲は、設定により変更できます。(P.27) 	撮影範囲の一部(中央の網掛け部)  <ul style="list-style-type: none"> ● 人感(熱)センサーの検知範囲は、付属のセンサー範囲調整キャップで変更できます。(P.18)



- 動作検知、人感(熱)センサーは、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知、人感(熱)センサーを使わないことをお勧めします。
- センサーを使うことによって生じた事故などの結果について、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

センサーの動作範囲について

お買い上げ時は、以下の時間帯に動作します。

時刻 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

人感(熱)センサー → 8:00 16:00 ←

動作検知 6:00 ← 18:00 →



お知らせ

- 設置環境などに応じて、各センサーを動作させる時間帯を変更することもできます。(P.30)

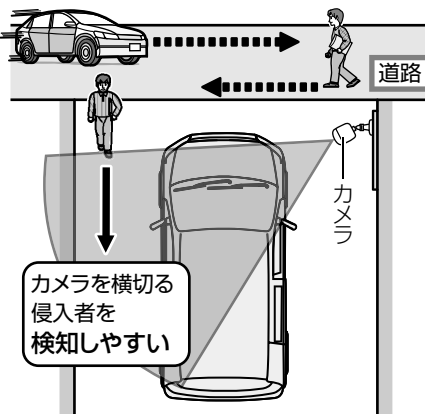
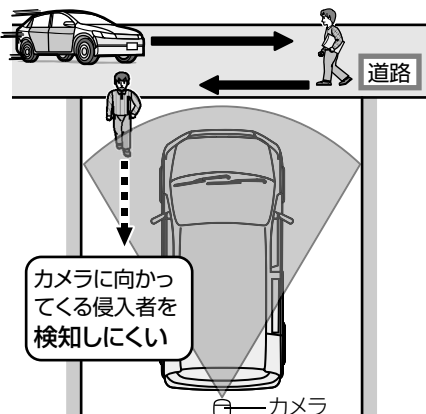
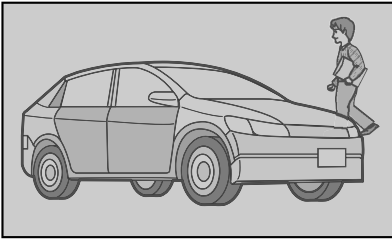
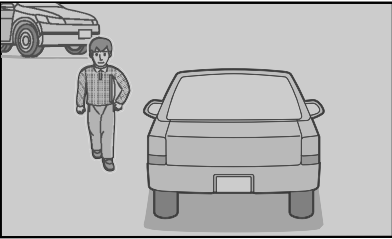
設置例①(住戸への訪問者の検知)

■ 車道の車などは検知させず、玄関口(門)からの訪問者を検知したいとき

良い例	悪い例
<p>道路</p> <p>距離: 約3 m</p> <p>カメラを横切る訪問者を検知しやすい</p> <p>家の壁</p> <p>カメラ</p> <p>玄関</p>	<p>道路</p> <p>カメラに向かってくる訪問者を検知しにくい</p> <p>家の壁</p> <p>カメラ</p> <p>玄関</p>
<p>〈撮影イメージ〉</p> <p>訪問者は横向きに映りやすくなりますが、車道の車は誤検知しにくくなります。</p>	<p>〈撮影イメージ〉</p> <p>撮影方向にある道路を通る車を誤検知しやすくなります。</p>

設置例②(駐車場などへの侵入者の検知)

■ 車道の車は検知させず、駐車場の中に入ってくる侵入者を検知したいとき


良い例	悪い例
 <p>カメラを横切る侵入者を検知しやすい</p>	 <p>カメラに向かってくる侵入者を検知しにくい</p>
<p>● 車高の高い車の場合、侵入者の顔が車に隠れないよう、カメラの設置位置や角度を調整してください。</p> <p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>侵入者は横向きに映りやすくなりますが、車道の車は誤検知しにくくなります。</p>	<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>撮影方向にある車道の車を誤検知しやすくなります。</p>

カメラ側の相手に 話しかける

カメラに内蔵されているスピーカーやマイクを通して、カメラの近くにいる人と通話ができます。

1 【モニター】を押す

2 映像が表示されたら、【通話】を押し続ける

- が表示されます。

3 相手と話す

■話すとき(送話)

【通話】を押したまま話す(押している間、相手の声は聞こえません)

■聞くとき(受話)

【通話】から指を離す(こちらの声は相手に聞こえません)

4 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- 通話時は、マイクから約50 cm以内で相手と交互に話してください。

カメラ側の様子を見る (モニター)

カメラ側の様子を、映像と音で最大約3分間確認できます。

- モニター中、室内の声はカメラ側には聞こえません。

1 【モニター】を押す

2 表示された映像と音声を確認する

3 終わったら、【終了】を押す

録画する (自動録画/手動録画)

カメラがセンサー反応したときに自動で録画したり、モニター時の映像を手動で録画することができます。最大50件まで録画できます。

- 1件につき、映像を10秒間録画します。
- センサー反応後の約10秒間は、センサー反応を検知できません。

センサー反応時の映像の録画(自動録画)

センサー検知前から4枚※1の静止画が撮影されます。センサー検知の約6秒後からの動画に切り替わります。録画後、新着ランプの点灯で通知されます。

※1 ホームネットワークシステムとしてご使用のときは、枚数が少なくなることがあります。

- 新着ランプを点灯させたくないときは、P.29「新着ランプ点灯」を「しない」にしてください。
- 録画中に映像を表示させたくないときは、P.31「録画中の表示」を「オフ」にしてください。

モニター映像や通話映像の録画 (手動録画)

録画したいときに、下記の操作をしてください。

- 1 モニター映像や通話映像を表示中、**【メニュー】**を押し、**【▶】**(録画)を押す



お知らせ

- 録画中は、画面に「●録画」と表示されます。
- 録画がいっぱいになったときは、新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。(録画の自動更新) このため、手動で画像を消去しなくても、録画できます。ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。(右記)

録画を再生する

新着ランプが点灯しているときは、自動録画された新しい画像があります。

- **【再生】**を押すと、新着ランプは消灯します。
- 再生中に**【メニュー】**を押すと、再生が中断されます。

- 1 **【再生】**を押す

- 録画した最新の画像が表示されます。

画像の状態*1 録画日時 録画件数



- 画像に重なる日時や操作ガイドの表示は消せます。(右記)

- 2 下記の操作で見たい画像を再生する

【▼】【▲】	見たい画像を選ぶ (長押しすると早送り/早戻しになる)
【◀】	停止する
【▶】	一時停止する

- 3 終わったら、**【終了】**を押す

※ 1 保護設定した画像のとき：

画像を保護する

消したくない画像を最大20件まで保護設定できます。

- 1 画像再生中に**【メニュー】**を押す
- 2 **【▼】【▲】**で「保護設定/解除」を選び、**【モニター】**(決定)を押す

■保護解除するとき

保護画像を再生中に、上記手順1、2を行ってください。

日時やガイドを消す／表示する

- 1 映像再生中に**【メニュー】**を押す
- 2 **【▼】【▲】**で「ガイド表示」を選び、**【モニター】**(決定)を押す
- 3 **【▼】【▲】**で「オフ」を選び、**【モニター】**(決定)を押す
 - 日時やガイドを表示するときは「オン」にしてください。

再生音量を調整する

- 1 映像再生中に**【メニュー】**を押す
- 2 **【▼】【▲】**で「再生音量」を選び、**【モニター】**(決定)を押す
- 3 **【◀】【▶】**で音量を調整する

画像を消去する

再生中の画像を個別に消去できます。

● 画像を全消去するには (P.29)

- 1 画像再生中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「1 件消去」を選び、
【モニター】(決定)を押す
- 3 【▼】【▲】で「はい」を選び、
【モニター】(決定)を押す

表示に関する機能や設定

画面の表示 (映像の見やすさ) に関する各種機能や設定を説明します。

映像の明るさを変える

- 1 映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「明るさ」を選ぶ
- 3 【◀】【▶】で明るさを変更する

音に関する機能や設定

音に関する各種機能や設定を説明します。

受話音量を変える

カメラとの通話やモニターで室内側に聞こえる音量を変更できます。

- 1 カメラとの通話・モニター中に
【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「受話音量」を選び、
【◀】【▶】で音量を変更する

送話音量を変える

カメラとの通話でカメラ側に聞こえる室内音声の音量を変更できます。

- 1 カメラとの通話・モニター中に
【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「送話音量」を選び、
【◀】【▶】で音量を変更する

センサーに関する機能や設定

カメラのセンサーに関する設定を説明します。

動作検知の検知範囲を設定する

- 1 映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「動作検知範囲」を選び、
【▶】を押す
- 3 【モニター】(決定)を押す
- 4 【▲】【▼】【◀】【▶】で検知しないエリアを選び、【モニター】(指定)を押す
 - エリアに☒が表示され、検知対象外になります。
 - 検知対象外を解除するには、☒のエリアにカーソルを合わせ、【モニター】(指定)を押してください。
 - 【再生】を押すと、画面下の説明 (キーガイド) を画面上に移動できます。
- 5 【通話】(決定)を押す
- 6 終わったら、【終了】を押す

センサー反応音の種類を変える

- 1 映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「センサー反応音」を選び、【▶】を押す
- 3 【▲】【▼】で「音の種類」を選び、【モニター】(決定)を押す
- 4 【▲】【▼】で音の種類を選び、【モニター】(決定)を押す
 - 音の種類を選ぶと、選んだ音が再生されます。
- 5 終わったら、【終了】を押す

センサー反応音の音量を変える

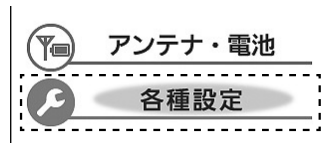
- 1 映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【▼】【▲】で「センサー反応音」を選び、【▶】を押す
- 3 【▲】【▼】で「音量」を選び、【モニター】(決定)を押す
- 4 【▲】【▼】で音量を選び、【モニター】(決定)を押す
- 5 終わったら、【終了】を押す

機能設定一覧(設定方法と一覧表)

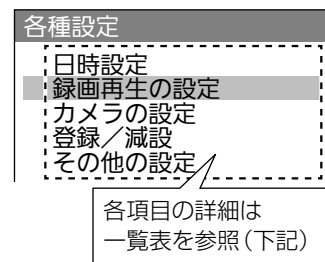
待機中に、下記の操作で各種設定を変更できます。

- 1 **【メニュー】**を押す
 - トップメニュー(①)が表示されます。
- 2 **【▼】【▲】**で「各種設定」を選び、**【モニター】**(**決定**)を押す
 - 設定の項目一覧(②)が表示されます。
- 3 **【▼】【▲】**で設定する項目を選び、**【モニター】**(**決定**)を押す
 - 選んだ項目の機能一覧(③)が表示されます。
- 4 **【▼】【▲】**で設定する機能名を選び、**【モニター】**(**決定**)を押す
 - 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。
- 5 **【▼】【▲】**で設定内容を選び、**【モニター】**(**決定**)を押す
 - 機能によってはこの操作を繰り返し行い、設定完了後に**【終了】**を押してください。
 - 設定内容の選択時に確認画面が表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

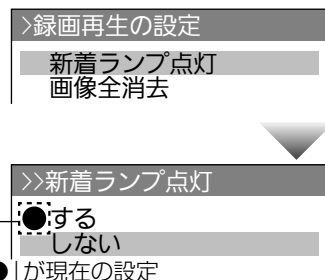
① トップメニュー



② 設定の項目一覧



③ 機能一覧(例)



■ 各種設定一覧表

項目名	機能名など	設定内容など	初期値
日時設定	—	● 日時の変更ができます。日時の設定画面が出たら、P.13「日時(時計)の設定」の手順2～3を行ってください。	2018年 1月1日 0時00分
録画再生の設定	新着ランプ点灯	する、しない ● 自動録画された新しい画像があっても、新着ランプが点灯しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する
	画像全消去	すべての画像を消去、保護画像を残して消去	—

項目名	機能名など		設定内容など	初期値
カメラの 選択	—		カメラ1～4 ● ホームネットワークシステムとしてご使用のときのみ表示され、モニター機で操作するカメラ*を選択します。	—
カメラの 設定	人感/動作検知 感度		高感度、標準、低感度、超低感度、各センサーの個別設定 ● センサーの検知感度を設定します。 「各センサーの個別設定」では、センサーごとに検知感度を設定でき、センサーをオフ（無効）にすることもできます。 ● 検知しにくいとき/動作検知で小さな動きも検知したいときは「高感度」、検知し過ぎるときは「低感度」「超低感度」を選びます。	標準
	検知 タイマー	人感センサー	自動、常時、タイマー ● 人感センサーを動作させるタイミングを設定します。 自動：夜間など周囲が暗いときのみ 常時：終日 タイマー：指定した時間帯のみ 「タイマー」の時間帯は、時間を【▼】【▲】、開始/終了を【◀】【▶】で設定します。	タイマー (16:00-08:00)
		動作検知	常時、タイマー ● 動作検知を動作させるタイミングを設定します。 常時：終日 タイマー：指定した時間帯のみ 「タイマー」の時間帯は、時間を【▼】【▲】、開始/終了を【◀】【▶】で設定します。	タイマー (06:00-18:00)
	状態表示ランプ		オン、オフ ● カメラの状態表示ランプが点灯しないようにしたいときは、「オフ」を選びます。	オン
	ちらつき防止設定		東日本(50 Hz)、西日本(60 Hz) ● カメラ映像のノイズを軽減します。ご利用の地域に合わせて設定します。	東日本 (50 Hz)
登録/減設	登録		中継アンテナ、ホームユニット、カメラ*	—
	減設		中継アンテナ、ホームユニット、カメラ	—

項目名	機能名など	設定内容など	初期値
その他の設定	録画中の表示	オン、オフ ● 録画中にモニター機に映像を表示しないようにしたい時は、「オフ」を選びます。	オン
	録画開始時の通知音量	大、中、小、切 ● モニター機の通知音（カメラのセンサーが反応して録画することを知らせる音）の音量を設定します。	大
	モニター機の初期化	設定を元に戻す、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。	—

※ KX-HJC100のみです。

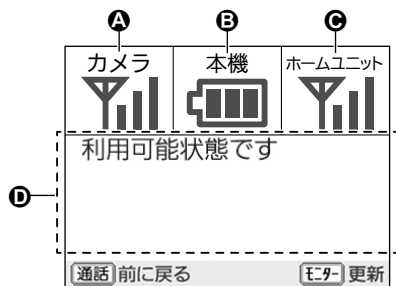
電池残量やアンテナレベル (電波の状態)を確認する

モニター機の電池残量や、電波状態(アンテナレベル)を確認できます。

1 【メニュー】を押す

2 【▼】【▲】で「アンテナ・電池」を選び、 【モニター】(決定)を押す

- 現在の状態が表示されます。



3 表示を確認して適切な処置をする

- 画面の見かたと処置方法(下記)
- 状態改善の処置をしたあとで【モニター】(更新)を押すと、最新の状態を表示します。

4 終わったら、【終了】を押す

画面の見かたと処置方法

①モニター機とカメラ間の電波状態

②モニター機とホームユニット間の電波状態 (ホームネットワークシステムとしてご使用のときのみ表示)



この範囲でご使用ください。

- 電波が弱いまたは圏外のときは、電波の強い場所へモニター機を移動してください。

③モニター機の電池残量

多い 少ない



この範囲でご使用ください。

●モニター機の電池残量表示について

- 充電中は「充電中」になります。
- 残量が少なくなるときはモニター機を充電してください。

④情報表示エリア

現在の状態に応じた情報(改善が必要な場合の処置方法など)を表示します。

中継アンテナを使用する

カメラとモニター機が離れていたり、壁などの障害物がある場合は、別売の中継アンテナ「KX-FKD3」を登録・設置すると改善できることがあります。

- 通話が途切れたり、映像が乱れるとき
- ✕ (圏外) で使えないとき

設置は1台のみ。中継アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

中継アンテナをモニター機に登録する



モニター機の操作

1 【メニュー】を押す

2 【▼】【▲】で「各種設定」を選び、 【モニター】(決定)を押す

3 【▼】【▲】で「登録/減設」を選び、【モニター】(決定)を押す

4 【▼】【▲】で「登録」を選び、 【モニター】(決定)を押す

5 【▼】【▲】で「中継アンテナ」を選び、 【モニター】(決定)を押す

- 続けて約2分以内に、中継アンテナで次の操作をしてください。

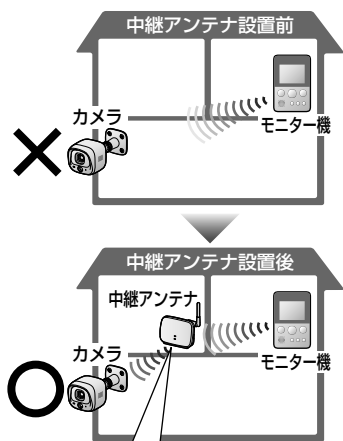
中継アンテナの操作

6 電源を入れ、登録ボタンを約3秒間押す

- 電波レベル/登録ランプが緑点滅し、登録が完了すると点灯します。

■登録が終わったら モニター機の【終了】を押す

設置例と電波の中継イメージ



中継アンテナを登録すると…

- 映像の更新速度が遅くなります。
(故障ではありません)

中継アンテナの使用をやめるとき(減設)

モニター機で次の操作をしてください。

- ①「中継アンテナをモニター機に登録する」の手順1～3を行う
- ②【▼】【▲】で「減設」を選び、【モニター】(決定)を押す
- ③【▼】【▲】で「中継アンテナ」を選び、【モニター】(決定)を押す
- ④確認画面が出たら、【▼】【▲】で「はい」を選び、【モニター】(決定)を押す
- ⑤終わったら、【終了】を押す

電池パックを交換する

モニター機用の電池パックについて

電池パックは消耗品です。充電完了後もすぐに「充電してください」と表示されるときは新しい電池パックと交換し、充電してからお使いください。(P.11～12の手順1～3を参照)

- 交換の際は、別売品「KX-FAN57」(P.39)をお使いください(仕様：ニッケル水素電池、DC 2.4 V、630 mAh)

- 使用済みの電池パック(ニッケル水素電池)を捨てるときは(下記)

古いニッケル水素電池はリサイクルに…

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になったニッケル水素電池、および使用済製品から取り外したニッケル水素電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。



- 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
- 一般社団法人JBRCおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

一般社団法人JBRCのホームページ
<http://www.jbrc.com>

- リサイクル時のお願い
 - ニッケル水素電池はショートしないようにしてください。(火災・感電の原因)
 - 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
 - ニッケル水素電池を分解しないでください。

システムを拡張する

カメラとモニター機を ホームユニットと接続する

別売のホームユニット(KX-HJB1000)と接続して、ホームネットワークシステムとして使うことができます。

- 各機器の電源を入れた状態で操作を始めてください。

モニター機は、P.11「モニター機の設置・充電」で充電してください。

ご利用までの操作の流れ

ホームユニット・無線ルーター・スマートフォンで、接続設定をする(初期設定)

- 操作方法は、ご使用のホームユニットの説明書を参照

ホームユニットのソフトウェアや「ホームネットワーク」アプリのバージョンを最新に更新する

- バージョンが古いと、本製品をホームユニットに登録できない場合や正常に動作しない場合があります。

〈ホームユニットの更新方法〉

初期設定の完了から約10分以上経過後、アプリのホーム画面から[設定]→[その他の設定]→[ソフトウェアの更新]の順にタップし、画面に新しいバージョンがある旨の表示が出たら、表示に従って操作・更新してください。

〈アプリの更新方法〉

スマートフォンにアップデートのお知らせがあったら、画面の表示に従って最新にしてください。

モニター機からカメラを減設する

- 本製品をホームユニットに登録するために必要な操作です。P.38「モニター機からの減設方法」を参照のうえ、カメラを減設してください。

減設したカメラ、モニター機を、それぞれホームユニットに登録する(P.35)

機器の動作を確認する

- 各機器を近くに置いた状態で、モニター機やスマートフォンに映像が映ることを確認します。
モニター機:【モニター】を押す
スマートフォン:アプリのホーム画面で【カメラ】をタップする

カメラを設置する(P.13)

モニター機とホームユニットを設置する

- P.32で電波状態を確認し、カメラの電波が強い場所、ホームユニットの電波が強い場所(ホームユニットの近く)にモニター機を設置してください。
- ホームユニットの電波状態の確認方法は、ご使用のホームユニットの説明書を参照してください。

減設したカメラを ホームユニットに登録するとき

カメラを外してホームユニットの近くに
持って行き、ACアダプターをつないでか
ら操作を始めてください。
(カメラの外しかたはP.17)

ホームユニットの操作

- 1 側面の登録ボタン【●B】を約3秒間押す
 - 天面のランプが緑点滅したら、カメ
ラの操作をしてください。



カメラの操作

- 2 先の尖ったものを使って、状態表示ラ
ンプが緑色に点滅するまで【●B】を
押す
 - 登録が完了すると、ホームユニット
が「ピーッ」と鳴ります。
 - 登録完了後は、カメラを元のように
設置してください。

モニター機を ホームユニットに登録するとき

ホームユニットの操作

- 1 側面の登録ボタン【●B】を約3秒間押す
 - 天面のランプが緑点滅したら、モニ
ター機の操作をしてください。



モニター機の操作

- 2 【メニュー】を押す
- 3 「各種設定」を選び→「登録/減設」を選び→
「登録」を選び→「ホームユニット」を選ぶ
項目選択は、次のように操作します。
【▼】【▲】で選び、【モニター】(決定)
を押す

- 「登録中」となり、完了するとモニター
機とホームユニットが「ピーッ」と鳴
ります。
- 画面を終了するには【終了】を押して
ください。




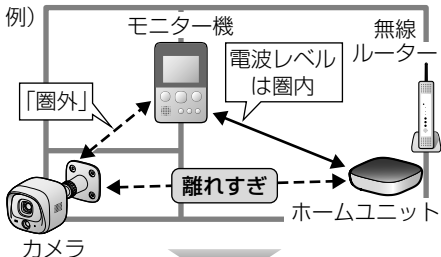



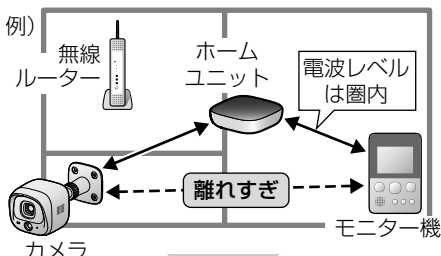


お知らせ

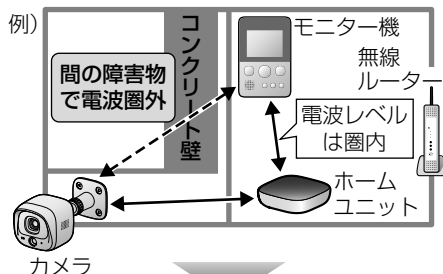
- 登録に失敗すると、ホームユニットは「ピ
ピピピッ」、カメラは「ピピピッ」と鳴り
ます。登録操作をやり直してください。
- システムを拡張しても、モニター機で選
択できるカメラは、KX-HJC100のみで
す。その他のカメラや各種センサーはス
マートフォンでのみ操作できます。

モニター機に映像が映らないとき

設置場所での動作確認でモニター機に映像が映らない場合は、機器の設置場所に問題があります。モニター機で確認した電波レベルの状態に応じて必要な処置をしてください。

モニター機の電波レベル表示	原因と対応
<div>〈ケース1〉</div> <div><div><div>カメラ</div><div></div><div>(圏外)</div></div><div><div>本機</div><div></div></div><div><div>ホームユニット</div><div></div><div>(圏内)</div></div></div>	<div>● カメラとホームユニット間が離れすぎていませんか？ (この場合、カメラとモニター機間は距離が近くても圏外となり、映像が映りません)</div> <div>例)</div> <div></div> <div>次の①または②の処置をしてください。</div> <div>① 以下の条件内で、ホームユニットをカメラに近づける</div> <div><ul style="list-style-type: none">ホームユニットとモニター機間の電波レベルが「強(アンテナ3本)」または「中(アンテナ2本)」の範囲内ホームユニットと無線ルーター間の電波レベルが圏内</div> <div>② カメラとホームユニット間に中継アンテナを設置する</div>
<div>〈ケース2〉</div> <div><div><div>カメラ</div><div></div><div>(電波レベルが「？」表示)</div></div><div><div>本機</div><div></div></div><div><div>ホームユニット</div><div></div><div>(圏内)</div></div></div>	<div>● カメラとモニター機間が離れすぎていませんか？</div> <div>例)</div> <div></div> <div>カメラとモニター機間には中継アンテナは設置できません。 以下の条件内で、カメラとモニター機間を近づけてください。</div> <div><ul style="list-style-type: none">ホームユニットとモニター機間の電波レベルが「強(アンテナ3本)」または「中(アンテナ2本)」の範囲内</div>

- カメラとモニター機間に、コンクリート壁など電波を遮る障害物がありますか？（この場合、カメラとホームユニット間、ホームユニットとモニター機間の電波が強くても、カメラとモニター機間は圏外となり、映像が映りません）

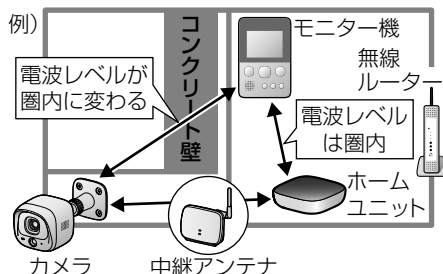


次の①または②の処置をしてください。

- ① カメラとの間に電波を遮る障害物がない場所に、モニター機を移動する

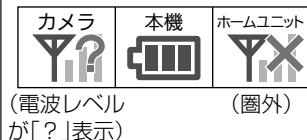
- ・ ホームユニットとモニター機間の電波レベルが「強（アンテナ3本）」または「中（アンテナ2本）」の範囲内で移動させてください。

- ② 次のように、カメラとホームユニット間で、モニター機から見通せる位置に、中継アンテナを設置する

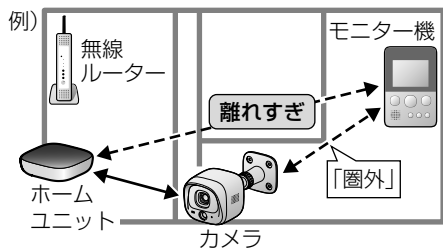


中継アンテナ経由で、モニター機に映像が届くようになり、改善できる場合があります。

〈ケース3〉



- モニター機とホームユニット間が離れすぎていませんか？



次の条件内で、ホームユニットをモニター機に近づけてください。

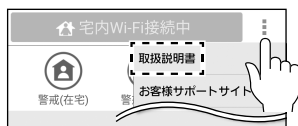
- ・ ホームユニットとカメラ間の電波レベルが「強（アンテナ3本）」または「中（アンテナ2本）」の範囲内
- ・ ホームユニットと無線ルーター間の電波レベルが圏内

アプリの取扱説明書 (電子版)の確認方法

「ホームネットワーク」アプリを使った機能の説明や操作方は、アプリの取扱説明書(電子版)に記載しています。
下記の方法で確認してください。

スマートフォンにインストールしたアプリ を使って確認する

- ① アプリを起動する
- ② ホーム画面でメニューボタンをタップし、[取扱説明書]をタップする



- 表示された取扱説明書で読みたい項目をタップすると、説明が表示されます。

パソコンなどを使ってサポートサイトに アクセスして確認する

下記のサポートサイトにアクセスする

[http://www.panasonic.com/
jp/support/consumer/com/
hns/smp/manual/](http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/hns/smp/manual/)



- 表示された取扱説明書で読みたい項目を選ぶと、説明が表示されます。



お知らせ

- 取扱説明書を正しく表示するための推奨環境は次のとおりです。

〈スマートフォンで表示するとき〉

- iOS 7.0以降
- Android 4.1以降

※対応するバージョンは、スマートフォンのOSのバージョン更新に伴って変わる場合があります。

〈パソコンで表示するとき〉

- Microsoft Windows Internet Explorer 9以降
- Firefox® (最新バージョン)
- Google™ Chrome (最新バージョン)
- Safari 4.1以降

機器の減設・連携解除

カメラとモニター機のみでご利用 のとき(ホームユニット接続なし)

使わなくなったカメラや中継アンテナは、モニター機から減設してください。

モニター機からの減設方法

1 【メニュー】を押す

2 「各種設定」を選び→「登録/減設」を選び→「減設」を選び→減設したい機器を選ぶ

項目選択は、次のように操作します。
【▼】【▲】で選び、【モニター】(決定)を押す

3 確認画面が出たら「はい」を選ぶ

- 減設完了後、画面を終了するには【終了】を押してください。

ホームネットワークシステムとしてご利用のとき

使わなくなった機器は、ホームユニットから減設してください。

ホームユニットからの減設方法

操作はスマートフォン(「ホームネットワーク」アプリ)を使って行います。



スマートフォンの操作

1 「ホームネットワーク」アプリを起動し、[設定]→[接続機器の登録・減設/電波確認]→[減設]をタップする

2 減設する機器の種類をタップする

- 登録されている機器が表示されます。

3 減設する機器名をタップし、確認画面が出たら [OK] をタップする

- 連結接続した中継アンテナを減設するときは、アプリ画面の表示に従ってホームユニットから「遠い方」の機器から減設してください。

ホームユニットとモニター機の連携(接続)を解除したいとき

次の操作が必要です。

1 ホームユニットからモニター機を減設する

- 操作方はP.38「ホームユニットからの減設方法」を参照してください。

2 モニター機からホームユニットを減設する

- 操作方はP.38「モニター機からの減設方法」を参照してください。

別売品

価格やご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 記載情報は2018年8月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

中継アンテナ	KX-FKD3
電池パック	KX-FAN57※ ¹
ホームユニット	KX-HJB1000
(ホームユニット用) 壁掛け用木ねじ・ワッシャー	KX-AN162※ ¹

※¹ お買い上げの販売店にて、お取り寄せとなります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

<http://jp.store.panasonic.com/>

仕 様

カメラ

使用環境	温度：-10℃～+50℃ 湿度：20%～90%(結露なきこと)
電源	ACアダプター(極性統一形プラグ) AC100V(50Hz/60Hz) (DC6.5V)(1A)
消費電力	待機時：約1.2W 動作時：約2.6W
外形寸法 (mm)(高さ×幅×奥行)	約75×75×173
質量	約460g
取付方法	専用のスタンドを使用
無線通信方式	1.9GHz TDMA-WB
使用可能距離	約100m(見通し距離)
撮像素子	CMOS 30万画素
出力映像	QVGA
最低被写体照度	0ルクス※ ¹
焦点距離	固定(0.5m～∞)
撮影範囲(カメラ画角)	水平：約70° 垂直：約53°

センサー検知方式	人感(熱)センサー(焦電型赤外線センサー)および動作検知
人感(熱)センサー検知範囲	水平:約70° 垂直:約20° 検知距離:約5 m※2
動作検知範囲	水平:約70° 垂直:約53°
防塵・防水性	IP54※3
取付角度調整(取り付け時に設定可)	水平:約±90° 垂直:正面～下方へ約60°
コード長さ	ACアダプターコード:約1.8 m DCコード:約8.0 m

モニター機

使用環境	温度:0℃～+40℃ 湿度:20%～80%
電 源	専用ニッケル水素電池(品番:KX-FAN57)(DC 2.4 V)(630 mAh)
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)(突起部除く)	本体: 約123×80×24.5 (充電台使用时 壁掛けの場合): 約138×95×52 (充電台使用时 平置きの場合): 約138×95×65
質 量	約150 g(電池パック含む)
画面表示	約2.7型カラー液晶ディスプレイ QVGA(320×240)最大10 fps (中継アンテナ登録時は最大6 fps)
通話方式	ブレストーク通話
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
使用可能距離	約100 m (カメラとの見通し距離)
待機(待受)時間	約7時間※2※4 (満充電時)
充電時間	約12時間※2
受話音量	3段階[小/中/大]
送話音量	7段階[消音/1/2/3/4/5/6]

呼出音量調整	4段階[大、中、小、切]
モニター画面に映像が映る時間	センサー反応時:約10秒 モニター時:約180秒(送話を含む)
録画時間	約10秒/件
映像の明るさ調整	5段階
再生音量	5段階[1/2/3/4/5]

■充電台

使用環境	温度:0℃～+40℃ 湿度:20%～80%
電 源	ACアダプター(極性統一形プラグ) AC100 V(50 Hz/60 Hz) (DC 6.5 V)(500 mA)
消費電力	待機時:約0.1 W (モニター機を充電台から外しているとき) 充電時:約1.4 W
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)	約66.2×95×64.2 (突起部除く)
質 量	約70 g
コード長さ	ACアダプターコード: 約1.8 m

- ※1 周囲が暗いときはカメラに内蔵の赤外線LEDが点灯して、映像を白黒で表示します。
- ※2 使用環境温度が20℃のとき
- ※3 防塵性規格等級5:
機器の所定動作および安全性を阻害する塵埃は入らないレベル
防水性規格等級4:
あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル(ACアダプターに防水性能はありません)
- ※4 充電台から外して一度も使用しない場合です。電波状態が悪いときは電池の消耗が早くなり、待機時間が短くなります。

困ったとき

モニター機の充電

充電台に置いても充電ランプが点灯しない

- ACアダプターのプラグが充電台に奥までしっかり差し込まれているか、またはコンセントから外れていないかを確認してください。
- 充電端子の汚れが原因の場合があります。乾いた布で汚れを拭いてください。

充電しても2、3回使うと

「充電してください」と表示される

電池パックの寿命です。

➔ 交換してください。(P.33)

カメラとの通信(通話・モニターなど)

下記①または②の症状がある

- ①映像が乱れる、映像の更新速度が遅い、通話が途切れる(ほとんど聞こえない)
- ②カメラのセンサー反応がモニター機に通知されない

- モニター機がカメラから離れすぎている、またはカメラとの間にコンクリート壁などの障害物(P.7)があると、電波が弱くなり正しく通信できません。
➔ カメラの近くなど電波の強い場所にモニター機を移動させてください。(電波状態の確認方法はP.32)
移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.32)

電波は良好なのに映像の更新速度が遅い

中継アンテナを登録すると、未登録時に比べて映像の更新速度が約半分にになります。(故障ではありません)

カメラセンサーの動作

センサーが誤動作する(人がいないのに反応する)

- ・車が通るたびに反応する
- ・照明のON/OFFに反応する
- ・雨や雪に反応する

- 次の場合は、動きや明るさの変化を検知して動作検知が反応したり、温度変化を検知して人感(熱)センサーが反応することがあります。

- ・ 検知範囲に車が入り込んだとき
- ・ 近くの照明がON/OFFしたとき
(車本体の動きや、車のヘッドライトまたは照明のON/OFFによる明るさの変化を検知して、動作検知が反応します。また、車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても人感(熱)センサーが温度変化を検知すると反応します)
- ・ 検知範囲に、風で動くような植木・洗濯物・カーテンなどがあるとき(動作検知が反応)
- ・ 犬や猫などの小動物が検知範囲に入り込んだとき
(動作検知や人感(熱)センサーが反応)
- ・ 雨や雪が降っているとき(特に夜間は内蔵の赤外線LEDによって雨や雪が照らし出されるため、動作検知が反応しやすくなります)
- ➔ カメラの撮影方向に車道が入らないように、角度を調整してください。
- ➔ 動作検知が誤動作する場合、動作検知の範囲や感度設定を調整してください。(P.27「動作検知範囲」、P.30「人感/動作検知感度」)
夜間に動作検知を動作させていて、車のヘッドライト・照明のON/OFF・雨や雪に頻繁に反応する場合は、動作させる時間帯を変更してください。(P.30「検知タイマー」)
- ➔ 人感(熱)センサーが誤検知する場合、付属の「センサー範囲調整キャップ」で検知範囲を調整するか、人感(熱)センサーの感度設定を調整してください。(P.30「人感/動作検知感度」)

〈上記以外で人感(熱)センサーが誤動作する〉

- 次のような場所で、誤動作することがあります。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ エアコンの本体や室外機の近くなど、温度変化の激しいところ
 - ・ 油汚れが付いたり、蒸気がかかる場所
 - ・ 外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
 - ・ 火気・熱器具の近く
 - ・ 電子レンジや磁石などの強い磁気を発生するものの近く
 - ・ 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
 - ・ 温度に影響するような強い発光物(蛍光灯など)がある場所
 - ・ 携帯電話など強い電波を発信する製品の近く
- 冬場など、気温が低いと検知距離(5 m)が長くなり、検知しすぎることがあります。
 - 人感(熱)センサーの感度設定をより低い感度に変更してください。(P.30「人感/動作検知感度」)

センサーが反応しない

- ・ 動作検知や人感(熱)センサーがはたらかない
- 各センサーが動作する設定になっているか、設定を確認してください。(P.30「人感/動作検知感度」)
- お買い上げ時、動作検知は6:00から18:00、人感(熱)センサーは16:00から翌日8:00の時間帯にしか動作しません。
 - 動作させる時間帯は、変更できます。(P.30「検知タイマー」)

〈上記以外で動作検知がはたらかない〉

- 被写体の動きが小さいと、検知しないことがあります。
 - 動作検知の感度設定を、より高い感度に変更してください。(P.30「人感/動作検知感度」)
- 被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。
 - 人感(熱)センサーを使用するか、補助灯などを設置して被写体周辺が明るくなるようにしてください。
- 〈上記以外で人感(熱)センサーがはたらかない〉
 - 次の場合は、反応しないことがあります。
 - ・ 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるとき
 - ・ 人感(熱)センサーに雪が付いたとき
 - ・ カメラの正面から人が近づいてきたとき
 - 夏場など、気温が人の表面温度に近いときは、検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。
 - 人感(熱)センサーの感度設定を、より高い感度に変更してください。(P.30「人感/動作検知感度」)

人感(熱)センサーが反応しにくくなった

- 人感(熱)センサーの表面が汚れている。
 - 表面を柔らかい乾いた布で拭いてください。

正面方向から近づいてくる人を検知できない

- カメラの正面から近づいてくる人物は検知しにくくなります。
 - 検知させたい人物がカメラを横切るようにカメラの設置場所を変更してください。(人物は横向きに映りやすくなります)

カメラ映像の画質
<p>人がいるのに、人物がまったく、またはほとんど映っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次のような場合、うまく撮影できないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ センサーの検知エリアの境界付近にいる人などの動き ・ カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人などの動き ・ カメラの近く（約 1 m 付近）を横切った人などの動き
映像がはっきりしない（焦点が合わない）
<ul style="list-style-type: none"> ● カメラのレンズカバーに汚れなどが付いていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ➔ レンズカバーを柔らかい乾いた布で拭いてください。
映像が適切な明るさにならない
<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 約 1 秒お待ちください。自動で補正されます。
画面にノイズがたくさん発生してぼけたような映像になり、人の顔などが判別しにくい
<ul style="list-style-type: none"> ● 暗い場所で撮影した映像は、撮像素子の特性によるノイズのため、人の顔などが判別しにくくなります。（故障ではありません） <ul style="list-style-type: none"> ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。
被写体が白黒（または青紫）っぽく映る
<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間などカメラの周囲が暗いときは、赤外線LEDにより、被写体が白黒（または青紫）っぽく映ります。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。
被写体がぶれる
<ul style="list-style-type: none"> ● 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません） ● 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときはシャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。

映像に白点または色のついた光の点が表示される
<ul style="list-style-type: none"> ● 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません） <ul style="list-style-type: none"> ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。
画面にちらつきが発生する
<ul style="list-style-type: none"> ● 「ちらつき防止設定」が、お使いの地域（東日本／西日本）に合わせて正しく設定されていますか？正しく設定しないと、蛍光灯など交流電灯の照明によって、しま模様になることがあります。（フリッカー現象） <ul style="list-style-type: none"> ➔ 地域に合わせて正しく設定すると改善できます。転居などで地域が変わったときは、設定を変更してください。（P.30「ちらつき防止設定」）

その他
モニター機を充電台から外しているとき、4秒ごとに「ビッピッ」と音が鳴る
<p>電池がなくなりかけています。</p> <p>➔ すぐに充電してください。</p>
録画再生で録画日時が表示されない
<p>日時が設定されていません。または、電池切れ、電池交換、充電中の停電により、設定した日時が消えています。</p> <p>➔ 日時を設定してください。（P.13）</p>
モニター機や充電台が温かい
<p>異常ではありません。（夏は冬に比べて少し熱く感じる場合があります）</p> <p>➔ 非常に熱いときは、ACアダプターをコンセントから抜き、電池パックを外して、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
正しく操作しても動かない 動作がおかしい
<p>直らないときはモニター機の電池パックを外し、10秒以上待ってから入れる（P.11）</p>
設定内容を元（お買い上げ時の状態）に戻したい
<p>「モニター機の初期化」をしてください。（P.31）</p>

CSデジタル放送(特定チャンネル)の 画像が乱れる

本機※¹の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると画像が乱れることがあります。

→ 下記のように、CS・BS対応の受信設備をお使いください。

- 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルは「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ(CS・BS専用ケーブルに対応)を使う

※1 無線通信に1.9 GHz帯を使用している中継アンテナ(別売品)も含まれます。


こんな表示が出たら

画面に表示されるコード番号(U●●)で検索できます。

- 記載したコード番号の一覧は、お問い合わせの多いものなどを抜粋したものです。記載以外のコード番号や表示が出ることもあります。

U3●(カメラ登録・接続)

表示	原因と対応
U31	モニター機にカメラを再登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 → カメラをモニター機に近づけて登録操作をやり直してください。

表示	原因と対応
U35	<p>カメラをモニター機に登録する必要があります。</p> <p>＜カメラの登録のしかた＞</p> <p>モニター機の操作：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【メニュー】を押す 2. 【▼】【▲】で「各種設定」を選び、【モニター】(決定)を押す 3. 【▼】【▲】で「登録／減設」を選び、【モニター】(決定)を押す 4. 【▼】【▲】で「登録」を選び、【モニター】(決定)を押す 5. 【▼】【▲】で「カメラ」を選び、【モニター】(決定)を押す <p>● 続けて約3分以内にカメラで次の操作を行います。</p> <p>カメラの操作：</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 先の尖ったものを使って、状態表示ランプが緑色に点滅するまで【B】を押す <p>■ モニター機に「登録しました」と表示されたら完了です</p> <p>「[U31] 登録できません」と表示されたときは左記のU31を参照のうえ、登録操作をやり直してください。</p> 

U4●(中継アンテナ)

表示	原因と対応
U41	<p>モニター機に中継アンテナを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。</p> <p>→ 中継アンテナの電源を確認し、モニター機に近づけて登録操作をやり直してください。(P.32)</p>

U6●(ホームユニット関連)

表示	原因と対応
U601	<p>ホームユニットにモニター機を登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。</p> <p>→ モニター機をホームユニットに近づけて登録操作をやり直してください。</p>

保証とアフターサービス

よくお読みください

ご相談の前に

- ① P.41～44の「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
- ② P.46のパナソニック 総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。

修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターや電池パックを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	モニター付き屋外カメラ
品 番	VS-HC105
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
(右記「修理時にご持参いただく機器」)

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、付属の電池パックは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。



お 願 い

- 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

修理時にご持参いただく機器

〈登録してご利用時〉



カメラ



モニター
機※1



中継アンテナ
(ACアダプター含む)

※1 充電台とACアダプターを含む。

- 上記のすべてをご持参いただけない場合、修理・返却後にお客様自身で登録操作が必要になる場合があります。
- 修理を依頼する前に、P.8「個人情報について」を必ずお読みください。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- ※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、このモニター付き屋外カメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

- 修理ご相談窓口は、P.46をご参照ください。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、P.46に記載の、ご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



本機に添付の『「ご愛用者登録」のご案内』に表示してあるQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。

QRコード



パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>



ファクス・電話機・ドアホン 使い方・お手入れなどのご相談窓口



フリーダイヤル

パナは キュウハチサン

0120-878-983

受付時間
9:00～18:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■ FAX フリーダイヤル
06 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



フリーダイヤル

パナは イイヨ

0120-878-554

■ 上記電話番号が
ご利用いただけない場合
03-6633-6700

■ FAX フリーダイヤル
06 0120-878-225



便利な修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

- ・ ご相談の際は、ご使用の機器（カメラ/モニター機）に表示されている品番もお伝えください。
- ・ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・ 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・ 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについてはP.45をお読みください。

愛情点検

長年ご使用のモニター付き屋外カメラの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- ACアダプターやコードが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、
ACアダプターを
抜いて、必ず販売
店に点検をご相談
ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご添付がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 修理ご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

モニター付き屋外カメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	VS-HC105		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間 (但し電池パックは除く)		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電 話 () -		
※ 販売店	住所・販売店名 _____ 電話 () -		

パナソニック株式会社 コミュニケーションプロダクツ事業部

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号 TEL (092) 477-1800

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。